

第5回 松本若者ブレスト



実施報告書

開催日時 : 令和7年12月14日(日) 14:00~15:30

開催場所 : 信濃ギャラリー(大手4丁目7)

参加グループ : 文化芸術の魅力発信でまつもとを盛り上げたい若者たち(4名)

テーマ : 文化芸術の魅力発信でまつもとを盛り上げたい



意見交換（上土劇場について）

上土劇場について	市長回答
<p>○上土劇場は老朽化しているため、市民に身近で使いやすい劇場を新たにつくれないか。</p> <p>○具体的には、劇場としてだけでなく、バンド等の音楽活動にも使える、ライブハウスのような施設がほしい。</p>	<p>【趣旨】文化芸術活動の施設について、以下のような内容を総合的に考慮して検討していきたい。</p> <p>「公共事業の基本方針」 短期的なメリットだけでなく、20年から30年といった長期的な視点でも判断する必要がある。長く使われ多くの市民に恩恵があるならば、初期コストが多大でも、相応の金額を投入すべき。コストを松本市が全額負担するのは、税金を使うことになるので限度もある。活動団体に対し、市がお金の援助をする、土地の提供をするといった形で協力していきたい。</p> <p>「まつもと市民芸術館」 松本市が保有しており、規模も大きく、できることが多い反面、長期的視点では管理や修繕の費用が大きな負担になってくる。</p> <p>「既存施設の有効活用」 新しいものをつくるだけでなく、既存の施設を有効活用することも大切な視点。</p> <p>「汎用性のある施設」 施設の用途、サイズ、利用する世代等、より具体的な提案をしてもらうと、議論を始めやすい。バンド活動をするスタジオについては、数が少ない、利用料が高いといった声もすでにいただいている。</p> <p>「中心市街地の活性化」 松本駅から松本城までの中心市街地をもう一度にぎわいのある空間にするための取組みを行っている。 若い世代の演劇活動、音楽活動をする場に観客が集まるという場所ができれば、活性化につながるので、検討したい。</p>



意見交換（演劇の認知度を高めたい）

演劇の認知度を高めたい	市長回答
<p>○まつもと演劇祭の認知度を高めたい。 <small>（まつもと演劇祭：日本最大級の地域演劇の祭典。県内外の劇団が毎年秋に松本に集まり、3日間程度集中的に公演を行う。）</small></p> <p>○若い世代はSNSを通じて情報を得ることが多いため、SNSによるPRについても考えていきたい。</p> <p>○長野県内で、松本市は演劇が盛んな場所。</p> <p>○中サイズ、小サイズの劇場（上土劇場、信濃ギャラリー、裏町の小劇場）が多くあり、活動がしやすい。</p> <p>○演劇を始める人の間口も広く、「ピカピカ芝居塾」、「シニアシアター」、「演劇で遊ぼう」など幅広い世代を対象にしたワークショップがあるのも特徴。</p>	<p>【趣旨】松本まちなかアートプロジェクトのプラットフォームを活用することにより、効果的なPRが可能になるのではないかと。若者世代を中心としたSNSによる発信も重要。</p> <p>「松本市とまつもと演劇祭の関わり」 10年に1回補助金を出している。</p> <p>「財政支援の基本的な考え方」 お金の支援を受けるといことは、お金を出す人の意見がある程度反映させる必要がある。自分たちのやりたいことを周りの意見に左右されずに実現するには、金銭面も含め自分たちでやりくりする必要がある。 自己資金だけでイベント等を実施することは難しい場合が多いので、公益性のある事業に関しては市やその他関係団体が協力し合うことが必要になる。</p> <p>「松本まちなかアートプロジェクトについて」 松本まちなかアートプロジェクト：松本まちなかアートprojectは、市内で行われている様々なアート活動を1つのプラットフォームを通じて、より多くの人々（市民及び観光客）に発信することで、日常生活の中で文化芸術に触れる機会を増やし、まちに魅力と賑わいを創出させることを目指しています。<small>（引用：松本まちなかアートproject ホームページ）</small> 始まったばかりのプロジェクトだが、プラットフォームを活用してもらうことで、「松本では1年を通してこんなイベントが行われている」というのが、外部の人から見て分かりやすいようにしたい。個別のPRよりも、プラットフォームを利用した方が効果的なPRが可能になると考えている。公益性のあるイベントに一定程度の助成をすることも視野に入れている。</p> <p>「SNS利用について」 SNSを利用した周知は、比較的抵抗感の少ない若者を中心にその役割を担ってもらいたい。</p>



意見交換（バス運賃の値上げ）

バスの値上げ	市長回答
<p>○バスの運賃が来年4月から値上げされると聞き、何か対応策はないか。</p>	<p>【趣旨】すでに予定されている施策により、値下げの効果が期待できる。定期券の区間を指定しない「サブスクリプション的な」サービスも始まるため、ぜひ利用してほしい。</p> <p>「運賃の値上げ」 一般路線、コミバスが令和8年3月14日から20円程度値上げ。 キャッシュレス決済をした場合は、現行の運賃と同額で利用可能。</p> <p>「通学定期の割引率引上げ」 学生、子育て世代の支援を目的として、令和8年3月14日から、通学定期券の「割引率」を現行の約40%から50%に引上げる。</p> <p>「金額式フリー定期券」 令和8年3月14日から始まる新しいサービス。 対象：通勤・通学定期券をもっている方 概要：区間を指定せず、どの路線、どの停留所でも乗降り可能。 乗越した分は、差額分の支払いをする。（自動的に精算）</p>

キャッシュレス決済の 利用で普通運賃が割引

※運賃が一律20円の値上げになりますがキャッシュレス決済であれば、運賃値上げ前と同額で乗車できます
※期間限定(概ね2年間)

対象決済

- 交通系ICカード(Suicaなど)
- 地域連携ICカード「KURURU」
- チケットQR(アプリ)
- チケットQR(紙製プリペイドカード)
- クレジットタッチ

※リップルマークの付いたカードが必要
※マスターカードはご利用できません

通学定期券の割引率を

今まで

これから

40% → 50%へ

※一般路線のみ

ご参加いただいた方からの感想

- 始めは緊張したが、松本の演劇の現状を市長に伝えることができ良かった。
- 若い世代の意見を聞いてもらえるという機会は貴重で、よい経験になった。
- 他の参加者の意見も聞くことで、自分自身の視野も広がった気がする。
- 松本の演劇活動への関心をもっと広がってくれたら嬉しい。

ご参加いただき、ありがとうございました。

